

小杉天外 こすぎ たいがい 小説家。慶應元年九月十九日出羽國生れ。昭和二十七年九月一日没（二八五—九七）。本名為藏。筆名くさくさびと、午虹庵天外、天外子、如泉庵天外、小杉草秀、撫浪漁史、竹林歌聲樓、葵蔭舎天外等。國民英學會等小學校。明治二十四年齋藤綠雨の心師事。三十年伊原青々園、高村抱月、後藤宙外等と『西文社』を興し、機關誌『新著月刊』を創刊。またエミール・ゾラの影響を受け寫實主義を提唱。昭和二十二年日本藝術院會員。

著書『反古袋』（齋藤綠雨合著、明治二十六年二月七日春陽堂）、『蛇いぢり』（明治二十二年四月一日春陽堂）、『ひびたり羅』（明治二十二年五月十四日春陽堂）、『女大星』（明治二十三年十月十三日春陽堂）、『はやり唄』（内題「はやり歌」明治二十五年一月一日春陽堂）。

陽堂。再刊。昭和五年十一月二日改造社『改造文庫』、二十九年七月五日岩波書店『岩波文庫』、『新學士』（明治二十五年七月十五日春陽堂）、『廣風戀風』全二冊（前編・明治二十八年十一月十五日中編・二十七年一月一日、後編・五月十五日、縮刷日本・大正二十九年二月二十日春陽堂。再刊。昭和九年八月一日中央公論社『日本近世大

悲劇名作全集』、十二年九月一日新潮社『新潮文庫』、全一冊（前編・後編。二十六年九月二十五日岩波書店『岩波文庫』）、『新大人』（明治二十七年八月一日春陽堂）、『お七紫』全二冊（前編・明治二十八年一月一日、後編・九月二十日春陽堂）、『男學生氣質』（附錄學生清復

法）』（合著・新公論社『高島大圓編』、明治二十九年二月二十九日井鷲堂書店）、『秋田文名噴々』（合著・青柳有美編、明治四十一年八月八日秋田・大島商會）、『闇を歩く人』（明治四十四年十一月十

五日春陽堂)、『落花帖』(大正二年十月十九日春陽堂)、『はりの姿』
 (大正五年一月十四日新潮社)『代表的名作選集』、再刊『初すゝた』
 昭和二十年四月五日岩波書店『岩波文庫』)、『二代地獄・前』(大
 正十年一月十五日文社)、『浮豆の頼朝』(大正十一年一月)二十五
 日金星堂)、『ココア』(縮刷合本・大正十一年八月)二十五日春陽堂)、
 『藤娘』(昭和二年五月)『大日本雄辯會』、『現代長篇小説全集』
 19『小杉天外篇』(昭和四年十一月)『新潮社』、『小説仕入帳』(昭
 和十六年一月)二十五日中央公論社)、『くぐら草紙』(昭和二十二年
 六月)二十日海日書店)等。